

日々の田高（トキワツユクサ）

理科の実習支援員の先生から、校舎南側の茂み中に、トキワツユクサがたくさん咲いていますよ。と、教えていただき、現場に行きました。

初夏によく見る青いツユクサとは異なり、白い可憐な花をつけています。綺麗な花だなと思い、インターネットで調べてみると、昭和初期に日本に持ち込まれた帰化植物でした。

総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）の重点対策外来種に指定されているとのことです。

リストを見ると、身近な植物が様々あげられていました。生物多様性について、私たちが知り、学ぶことが大切であると考えました。

なお、外来種に関して話し合う国際会議も行われており、2022年12月には、生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が採択されたそうです。

特定外来生物への対応として

1. 入れない ～悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「入れない」。
2. 捨てない ～飼養・栽培している外来種を適切に管理し、「捨てない」（逃がさない・放さない・逸出させないことを含む）。
3. 拡げない ～既に野外にいる外来種を他地域に「拡げない」（増やさないことを含む）。

が示されています。

身近な植物などに関心がある生徒の皆さんは、生物多様性のことや外来種について、ぜひ自分で調べて学んではいかがでしょうか。

